

「第3次町田市環境マスタープラン」に掲げる「望ましい環境像」等

<望ましい環境像> みんなで将来に受け継ぐ水とみどり豊かな まちだ

重点プロジェクト1-1

公共施設における再生可能エネルギー等の利用拡大



公共施設に太陽光発電機器を導入し、さらに照明のLED化などの省エネ化を進めることで、建物から排出されるCO₂排出量が減少しています。また、再生可能エネルギー由来電力への切替も進んでいます。

重点プロジェクト1-2

市民、事業者における再生可能エネルギー等の利用拡大



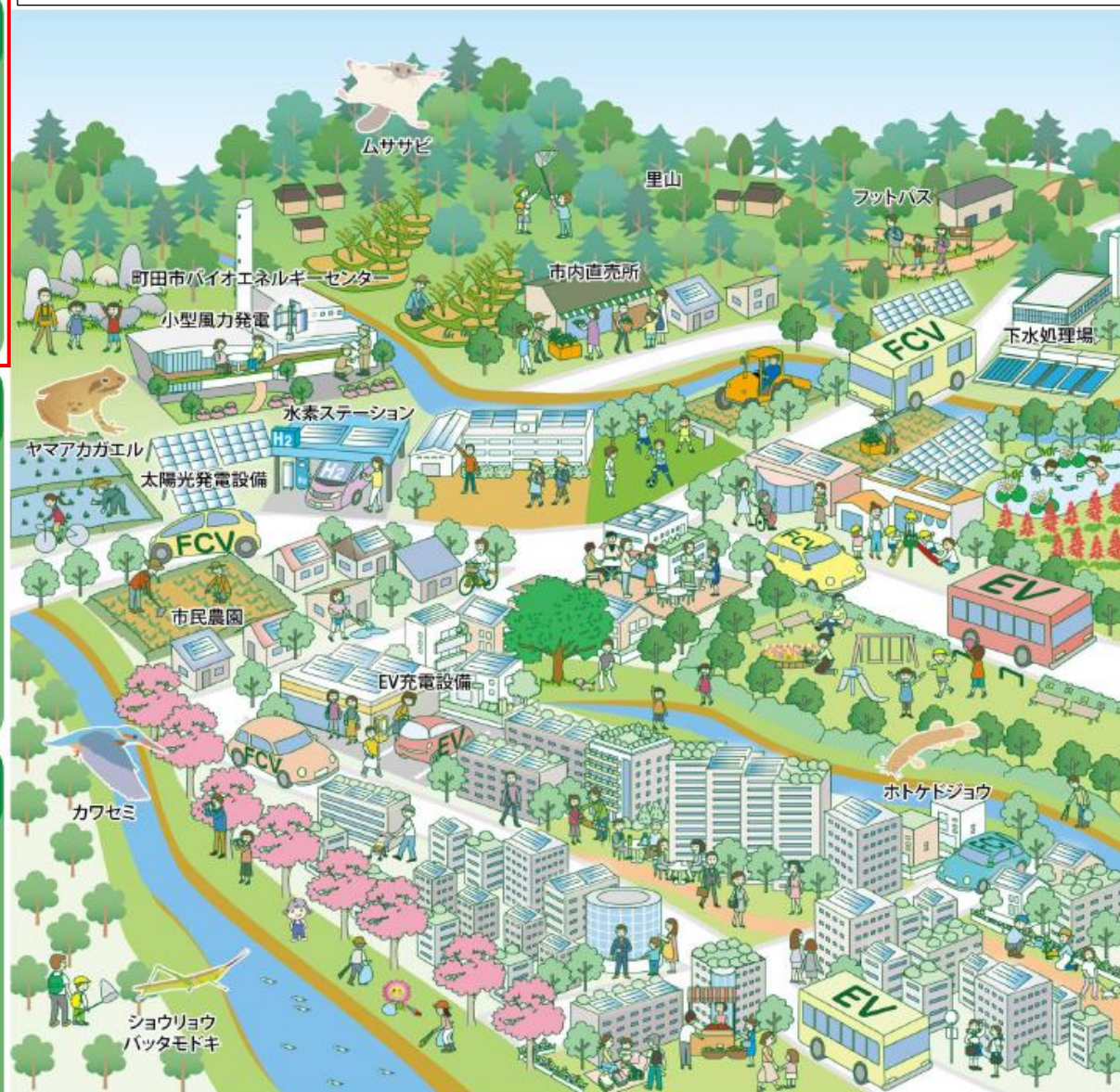
住宅や事業所の屋根に太陽光発電機器を導入し、発電した電気を利用しています。また、燃料電池を普及させることで、省エネ化や停電時のエネルギー利用が可能となっています。

重点プロジェクト2

次世代自動車等の積極的な導入と多面的な活用



電気自動車や燃料電池自動車などといった環境にやさしい自動車が普及しています。また、公共施設等には充電設備を設置することで、様々な場所での充電が可能となっています。



重点プロジェクト3

里山環境の活用と保全



里山環境を活用して、市民農園やフットパスなどの体験ができます。また、里山の保全にも取り組むことで、今ある里山環境を守っています。

重点プロジェクト4

地産地消の推進



市内の直売所(アグリハウス)に多くの人が訪れ、市内産農産物の生産と消費が進み、地産地消の好循環が生まれています。

重点プロジェクト5

フードドライブによる食品ロスの削減



余っている食品を必要な人に受け渡すフードドライブや飲食店での食べ切りといった取組を実施することで、食品ロスが削減されています。

重点プロジェクト6

プラスチックの資源化の推進



市全域で容器包装プラスチックの分別収集・資源化が実施されています。また、広報紙などを通じて、市民に対して普及啓発が行われています。